

大阪府の海外留学促進の取組み

-大阪府国際化戦略アクションプログラム-

Efforts Towards Promoting Overseas Study in Osaka: The Osaka Prefectural Internationalization Strategy Action Program

大阪府国際化戦略実行委員会事務局次長 吉村 圭次

YOSHIMURA Keiji

(Vice-Director,

Osaka Prefectural Internationalization Strategy Executive Committee Office)

キーワード：グローバル人材、海外留学、高校生、大学生、留学準備

1 はじめに

大阪府と公益財団法人大阪府国際交流財団は、国際競争力の強化を目的とする「大阪府国際化戦略アクションプログラム」を2011年に策定しました。当時、世界は既にグローバル化が進んでおり、世界的な視野に立った多くの企業が現れ成功していました。しかし、日本は「失われた20年」といわれるほどの長期の経済的低迷にあえいでおり、また若者は内向き志向であるなど閉塞感が漂っていました。

こうした状況に強い危機感を募らせ、経済発展につながる国際競争力を強化する取組みを始めよう、そしてそれは絵に描いた餅ではなく実際の行動につながる具体的な取組みにしようという思いから、「アクション」プログラムを策定し、大阪府と大阪府国際交流財団は共同して大阪府国際化戦略実行委員会という実行組織を立ち上げて事業を行うこととしました。

2 アクションプログラムの2つの柱

国際競争力を強化するためには何をすべきか。限られた財源の中で最大限の効果を生むのはやはり人材への投資です。大阪府国際化戦略アクションプログラムでは、世界で活躍する「グローバル人材の育成」と、留学生など世界から優れた人材を呼び込む「外国人の受入環境整備」を2つの大きな柱として事業を行うこととしました。

ここではこれらのうち、グローバル人材育成に絞って取組事例を紹介したいと思います。

3 グローバル人材とは

世界で活躍するグローバル人材を育てるには、まずは世界を知ることが重要です。本プログラムでは、3年間で1,000人の留学生や研修生を海外に送り出すことを目標としました。しかし、それだけでは十分ではありません。どのような人材を育てるかが重要です。グローバル人材を求める声は多いのですが、グローバル人材とはいったいどんな人材なのか、その定義はまちまちでした。

将来を担う人物を育てるためには確固たる育成方針を定める必要があります。そこ

で、アクションプログラムのキックオフイベントとして、グローバルに活躍されている有識者を迎え「グローバル人材育成のあり方を考える」シンポジウムを2011年に開催しました。中嶋嶺雄 国際教養大学学長(肩書は当時のもの。以下同じ)、山下真理 国際連合広報センター所長、松田武 京都外国語大学学長、山田智彦 ダイキン工業株式会社人事本部部長、中原徹 大阪府立和泉高等学校校長、山本嘉孝ハーバード大学卒業生といった方々がグローバル人材を育成するという趣旨に賛同してお集まりくださり、育成すべきグローバル人材とは何かについて討議をいただきました。その結果、グローバル人材とは「優れた語学力だけではなく、豊かな教養と幅広い視野を持ち、強いリーダーシップを発揮して世界の人々との信頼関係を構築できる人物」とし、そうした人物を育てる事業を進めることとしました。

4 取組事例

大阪府国際化戦略アクションプログラムは2012年度から本格実施し、3年ごとに必要な見直しを行いながら10年間事業を進めることとしています。

2014年度は、次の事業を行います。

◆おおさかグローバル塾

高校生等約100名を選抜し、4月から12月まで、海外留学に向けた英語による特訓塾を開講

◆グローバル体験プログラム

高校生等1,500名を対象に、空港施設やホテルなどの模擬施設を活用し、日本にいながら英語を使って海外渡航や留学を体感できる実践学習を実施

◆留学準備集中講座

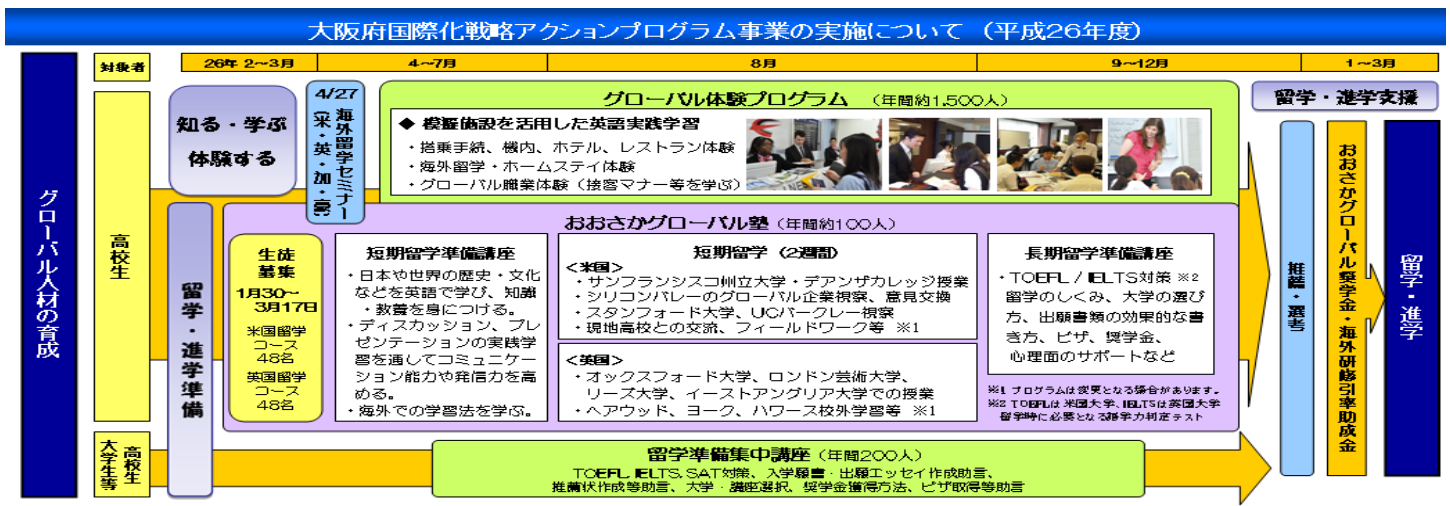
大学・高校・専修学校生等200名を対象に、海外の大学・学部の選び方、出願書類等作成支援、語学試験対策、プレゼンテーション実習を行うなど、海外留学を支援

◆海外留学セミナー

アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア各国大使館等の協力により海外留学セミナーを実施

◆おおさかグローバル奨学金・海外研修引率助成金

3ヶ月以上の留学を行う場合に、渡航費や保険費用など1人当たり30万円を限度に奨学金を支給。また、10名以上研修生を新たに引率する場合に引率者の渡航費等を、引率者1人当たり30万円を限度に助成



次に2013年度の事業実績について詳しく説明します。

(1) おおさかグローバル塾

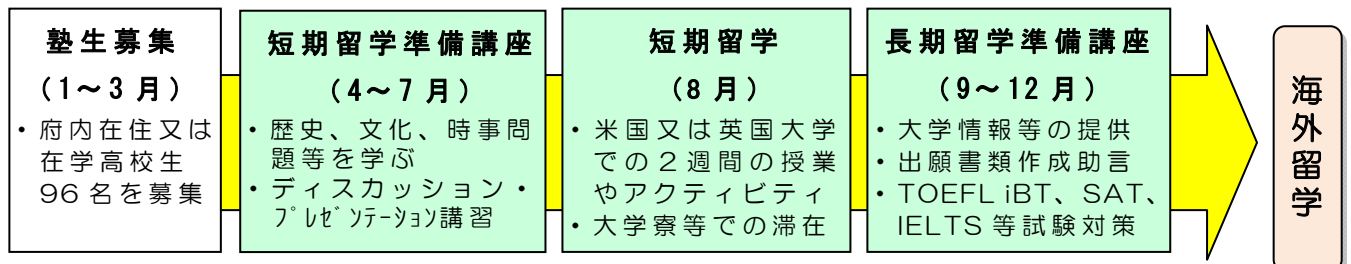
◆海外留学支援を目的として、大阪在住若しくは在学の高校生を対象に、米国留学コース、英国留学コースの2つのコースに分かれて、4月から12月まで英語による特別授業を実施しました。



◆英語で日本や世界の歴史文化、時事問題、プレゼンテーションスキルなどを学び、世界の人々としっかりとコミュニケーションできる力を育てるとともに、夏期には米国や英国への短期留学を行い、現地の大学の授業や学習法を学ぶなど、自信を持って留学生活を送る力を育てています。

[対象者]	府内在住/在学高校生（専修学校高等課程等を含む・新2年生以上） 学校長推薦が必要 TOEFL iBT45、TOEFL ITP (PBT) 450、TOEFL Junior725、IELTS4.0、英検2級、国連英検B級、TOEIC (IPを含む) 520又はGTEC for STUDENTS 550のいずれか以上のスコアを有する者
[日程]	講座：日曜/休日1日3時間（午前又は午後） 年間50時間以上 短期留学：2週間（アメリカ又はイギリス）
[募集定員]	定員96名（米英コース各48名）

<スケジュール>



<留学実績>（留学中又は留学決定[2014年3月末現在]）

◆2012年度（第1期生）

大学：（アメリカ）カリフォルニア州立大学フレズノ校、リンデンウッド大学、サンフランシスコ州立大学、ウィノナ州立大学（チェコ）国立パラツキー大学（韓国）延世大学（フィリピン）ブラカン州立大学（イギリス）サウサンプトン大学、アート・ユニバーシティ・ボーンマス（カナダ）サスカチュワン大学
高校：（フィンランド）Tikkurilan lukio（コスタリカ）Liceo de Nicoya

◆2013年度（第2期生）

大学：（アメリカ）オレゴン州立大学、ワシントン州立グリーンリバーコミュニティカレッジ（カナダ）トロント大学

<短期留学>

【米国留学コース】

米国留学コースは、8月1日から14日まで、サンフランシスコを中心に滞在し、4つの大学訪問と、数多くのプログラムに参加しました。

最初に訪れたのは、全米屈指の名門校として知られるスタンフォード大学です。敷地内のメモリアル・チャーチなどを見学した後、工学部の研究棟を訪問し、教授や学生がどのように研究を進めているのかを見学しました。

次に、カリフォルニア州クパチーノ市にある州立 De Anza College を訪問しました。同大学は、コミュニティーカレッジでは全米トップ5に入る優れた大学で、カリフォルニア大学及びカリフォルニア州立大学への編入生の数は全米一、二を争っています。今回の訪問では、生徒のために12人の学生がアテンドしてくれました。

コミュニティーカレッジは、授業料負担が少ないことが魅力です。費用面でアメリカ留学を躊躇するというのを聞きますが、今回の見学でコミュニティーカレッジからの編入という留学方法を知り、米国への進学を決意するきっかけとなる生徒もいました。

続いて、昨年に引き続きサンフランシスコ州立大学を訪れ、3日間に渡り専門講義や英語学習授業を受講しました。休憩時間には、希望する学部を自主的に見学したり、教授に話を聞きに行ったりする生徒もいました。大学での講義を通し、留学に対するビジョンがより具体的になったようです。

最後に訪れたカリフォルニア大学バークレー校は、ハーバード大学やスタンフォード大学などと並ぶ世界屈指の名門校として知られています。生徒たち誰もが知っている米国トップ校には、学ぶための全てが揃っており、ここで学んでみたいという気持ちが大きく高まると早速、実際に学んでみたい学部のオフィスを訪れ自主的に話を聞く生徒もいました。

現地滞在中は、ボランティアワークにも挑戦しました。1つ目は、サンフランシスコのサルベーションアーミー（救世軍）のボランティア活動です。貧困により学校を途中でやめることを余儀なくされた子どもたちに、新



学期から学校へ復帰してもらうことを目的に、かばんやノートなどの学用品を配布するもので、併せて来場者向けに多くのアミューズメントが用意されています。このイベントには約1,700名が来場し、生徒たちは、ゆかたで子どもたちを迎えるなど工夫を凝らしていましたが、喜ぶ子どもたちの姿を見て、ボランティアのやりがいを感じていました。このほか、プレシディオ国立公園の環境保全のため、侵入植物の除去や植物の移植など、現地の職員の方にお話を伺いながら、日本ではなかなか経験することのできない社会におけるボランティアの役割の重要性も学ぶことができました。

このほか、シリコンバレーの代表企業であるYahoo、Twitter、Googleの本社を訪問し、そこで働く現地社員や日本人社員と意見交換をしました。恵まれた職場環境で自由に仕事に取り組む風景にあこがれを覚えつつも、しっかりと成果を追及していくという米国流のスタイルを肌で感じていました。この企業訪問では、海外の仕事現場を見聞きし、海外で学び様々な分野で活躍する自分の姿を重ね合わせるまたとないチャンスとなったようです。



【英国留学コース】

英国留学コースは、8月12日から25日までの14日間の日程で3つの大学で寮生活をしながらプログラムに参加しました。最初に訪れたのは、ロンドン西郊トゥイッケナムにある17世紀からの歴史を有するセント・メリーズ大学です。ここでは、英国留学のオリエンテーションのほか、英国の法や政治システムの講義、体を動かしながら集中力や洞察力、表現力を養うドラマスタディの授業を受けました。また、英国在住の日本人による講演も行われ、かつてソニーのヨーロッパ統括を務められた鶴見道昭氏からは、

どんどん海外に出ていろんなことに挑戦することが大切だといったエールが送られました。



海外で実際に活躍している先輩から直接聞く話に、これから留学をしようと考えている生徒たちは感銘を受けた様子でした。

2か所目に訪問したリーズ大学は、ロンドンから約350キロ離れたイングランド北部最大都市リーズの中心部にあり、広大なキャンパスを構える人気の高い大学です。ここでは、ヨークシャー地方ゆかりのブロンテ姉妹に関する講義があり、大学の図書館に所蔵されるブロンテ直



筆の原書や書簡に直接触れるという貴重な体験をしたのち、実際にブロンテ姉妹が暮らしたハワース村に行き、現存する彼女たちの住まいを見学しました。

また、18世紀の階級社会を学ぶため、生徒たちがロールプレイ方式で当時の生活や風習を学んだのち、リーズ郊外にある貴族の大邸宅ヘアウッド・ハウスも見学しました。単に講義を聞くだけでなく、実際に歩き、自分の目で見ることで、学習対象をより具体的に捉えることができ、生徒たちの興味や関心はとても高まりました。このほか、機械工学、実験や国際ビジネスの講義でも、単に一つの答えを求めるのではなく、答えを出す過程でなぜそう考えたのか、しっかりと説明することの大切さを教わり、これまで日本で受けた授業との違いを実感していました。

最後に訪れたのは、英国東部の都市ノリッチにあるイーストアングリア大学です。この大学は、多くの分野でハイレベルな研究を行っており、とりわけ気候変動の研究に関しては世界トップクラスにあります。また、学生満足度が非常に高く、2013年には全英第1位となっています。



ここでもグループで議論しながら答えをまとめしていくという形式で、メディア、行動心理学、英国留学における学習スキルといった講義のほか、英国の大学で学ぶ意義についてのオリエンテーションも用意されていました。さらに、同大学が設置する視覚芸術センターでの所蔵美術品の見学や大学内施設でのスポーツ等充実した施設を体感するプログラムにも参加し、英国大学の魅力を十分に感じることができました。

短期留学を通じて、生徒たちは留学に対してそれぞれ自分なりの考えを持ち帰ることができたことは大きな成果といえます。また、米国、英国滞在中は、グローバル塾生の授業に対する意識の高さや積極的な活動ぶりが現地の関係者に高く評価されるなど、大阪の高校生の代表と呼ぶにふさわしい活動ぶりとなりました。

(2) グローバル体験プログラム

高校が取り組むグローバル人材育成のファーストステップとして、ホテルや空港施設等の実習施設を活用した実践的な英語学習を実施しました。海外への興味を引き出し、生徒の学習意欲の向上を図るとともにグローバルな感覚・能力を育成しています。

プログラムは次の3つのカリキュラムに分かれています（選択制）

①英語でグローバル体験（120分）

海外生活に必要な基礎知識と実践的な英語を習得し、人に頼らず海外を経験する自信を育てます。英語での搭乗手続、機内サービス、入国審査の疑似体験を行い、その後は高校のニーズに合わせ、「留学・ホームステイ体験コース」又は「ホテル・レストラン体験コース」を選択します

②グローバル職業体験（120分）

国際基準の立ち居振る舞い、接客マナー、接客英語、アナウンスなどを学ぶことに

より、世界を感じ視野を広げ、世界とつながる国際派の職業意識を高めます。

③ 本格留学体験（120分）

将来、留学を考える高校生に、想定される留学体験のケーススタディを行い、英語による異文化コミュニケーションのノウハウを学習します。

[対象者] 府内在学/在住高校生（専修学校高等課程等を含む）
（原則クラスで参加）

[募集人数] 1,500名 [参加費] 無料

< 授業実施状況 >

① 英語でグローバル体験

（事前学習）

空港・機内・ホテル・レストランそれぞれの場面で必要な英会話を学習します。



（空港チェックイン及び入国審査）

搭乗券の発行、座席の指定、スーツケースを預ける、搭乗ゲートの確認、入国審査などを行います。



（機内）

ミールサービス、ドリンクサービス、機内販売サービスなどを体験します。



(ホテルチェックイン)

予約の確認、宿泊フォームの記入、支払方法、ルームキーの受取り、部屋番号の確認などを行います。



(レストラン)

料理・デザート注文、テーブルマナー、会計・チップの支払いなどを行います。



(クロージングの様子)

スタッフメンバーとして活躍した留学生たちから高校生の皆さんに、海外で活躍するためのアドバイスやメッセージを伝えます。また、希望に応じて記念撮影を行います。



② グローバル職業体験

(エアライン業界職業体験)

まずは講師がお手本を見せ、笑顔の作り方や接客の手法を学びます。



講師の指導を受けて、ミール&ドリンクサービスに挑戦します。



③ 本格留学体験

(ホームステイ体験)

ホストファミリーとの最初の挨拶から、自己紹介、お土産を渡すシチュエーションを演出します。



(留学体験授業)

英語での自己紹介・他己紹介の仕方や海外について学習し、表現力や知識を広げます。



(キャンパスイングリッシュ学習)

一人当たり2分程度のフリートークで、留学生全員と友達になるコツを会得します。



<参加状況>

◆ 参加学校数 61校 参加生徒数 1,546名

<参加者の声>

<引率教員>

☆生徒達がとても良い表情をしていて、ふだん学校ではなかなか英語が出てこなくても今日は、すすんで発言していて、見ていて私も大変うれしく思いました。

☆学校の授業より楽しそうです。やはり外国語は使ってみることと、使える雰囲気があるかが大事ですね。

☆学校での事前指導では見られない、引き締まった顔をして英語を話している生徒たちを見ました。これから出発する研修のリハーサルができました。ありがとうございました。来年もぜひ来させていただきたいと思います。

<生徒>

☆ほんとに楽しすぎました！実際に体験できるような場を用意していただいて本当に嬉しかったです。

☆こんなに英語を使って話したことがなかったので、すごくいい体験ができました。もっと英語に興味を持ちました。

☆全然英語が聞き取れなくて、もっと勉強したいと思った。最後の方は「Thank you」が自然と自分の口から出てきて嬉しかった。

☆英語が通じた時が一番嬉しかったです。色々な国の人と会話ができて、日本にはない感覚があると思いました。すごく勉強になったと思います。

☆完璧に話せなくても、話そうとする気持ち、姿勢が大事だと改めて感じられて楽しかったです。

(3) 留学準備集中講座

海外留学に向けた大学・学部の選び方、出願書類等の作成支援、TOEFL iBT / IELTS 等試験対策、プレゼンテーション講習等を実施しています。



[対象者]	府内在学/在住大学・短大・高専・高校・専修学校生 TOEFL iBT45、TOEFL ITP (PBT) 450、TOEFL Junior725、IELTS4.0、英検2級、国連英検B級、TOEIC (IPを含む) 520、GTEC for STUDENTS 550 のいずれか以上のスコアを有する者
[募集人数]	200名
[参加費]	無料

<実施内容>

9月～3月実施。全体説明会＋1日3時間×月3回（土曜又は日曜）

TOEFLコースとIELTSコースの2種類

説明会	留学に関する基礎知識（出願エッセイ・推薦状の作成、ビザ申請など）	
DAY1 (180分)	テスト概要説明	・ TOEFL iBTコース：TOEFL iBT/SAT/ACT ・ IELTSコース：IELTS
	問題の実践練習	・ リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング例題・解法のコツ
DAY2 (180分)	演習問題解答・解説	
	スピーキング問題 実践編	○即答練習 ○意見の述べ方・根拠の述べ方 ○賛成・反対意見の述べ方 ○プレゼンテーションの基本・注意事項
	Essay Writing問題 実践編	○アウトラインの作り方 ○論理の展開
DAY3 (180分)	DAY2のReview及びEssay確認 ペアまたはグループでのPresentation 修了証書授与	

(4) 留学セミナーの開催**◆米国留学説明会**

日米教育委員会、駐大阪・神戸アメリカ総領事館・関西アメリカンセンターとの共催により、留学説明会を開催

◆英国留学セミナー

ブリティッシュ・カウンシルとの共催により、英国や英国留学の理解を深める留学セッションを開催

◆ブラウン大学現役学部生による**米国留学説明会**

アメリカ アイビーリーグの一つであるブラウン大学現役学生による留学説明会を開催。留学生活や留学後直面した問題やチャレンジ、留学の魅力、日米の大学の違いなどについて説明・意見交換を実施

**(5) おおさかグローバル奨学金・海外研修引率助成金****<おおさかグローバル奨学金 Aコース>****◆ 海外留学の渡航費・海外保険費用を支援（1人30万円上限・留学期間3ヶ月以上）**

[対象者] 府内在学/在住の大学・短大・高校・高専・専修学校生

[募集人数] 100名

<おおおさかグローバル奨学金 Bコース>

【大阪府高校生留学支援事業（文部科学省事業）】

◆ 海外留学の授業料・渡航費・海外保険費用を支援（1人40万円上限・留学期間原則1年間）

[対象者] 府内在学高校生（高専1～3年、専修学校高等課程含む）

[募集人数] 20名

<海外研修引率助成金>

◆ 府内の大学、高校、専修学校等を対象に、新規又は増員により10名以上の海外研修を行う場合に、研修生10名あたり1名の引率者の渡航費・海外保険費用を助成（引率者1人30万円上限）

[対象校] 府内の大学・短大・高校・高専・専修学校

[募集口数] 引率者15名分（1校あたり2名まで）

5 おわりに

おおさかグローバル塾は第2期生が修了し、3期生を迎えようとしています。彼らは同窓会組織を立ち上げ、後輩の指導を行ったり、国内外の大学生と一緒に留学に資する活動を行ったりするなど、自主的な取組みが始まっています。こうした取組みがさらに広がり、大阪だけではなく日本中でグローバル化が一層進むことを期待しています。

<関連 URL>

大阪府国際化戦略実行委員会 facebook

<http://www.facebook.com/osakaglobal>

大阪府国際化戦略実行委員会 YouTube

<http://www.youtube.com/osakaglobal>

おおさかグローバル塾 facebook

<http://www.facebook.com/osakaglobalschool>

大阪府国際化戦略実行委員会ホームページ

<http://osakaglobal.jp>